

会長 阿部信一
TEL 025-273-1572

事務局 井村健一
新潟市北区すみれ野2-10-12
TEL 025-259-7152

会報・編集委員会代表
浅野亘寛
長岡市金町2-2-17
TEL 0258-52-3998

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

第16回新潟県クライミング選手権2013を終えて

競技委員長 今井浩二

去る4月28日、第16回新潟県クライミング選手権

2013が国際自然環境アワードア専門学校開催された。

この大会は平成25年度の東京国体（スポーツ祭り東京2013）の予選も兼ねた大会である。小学生19名、中学生男子8名、高校生7名、成年選手16名の出場で、昨年よりも13名多い総勢50名の選手の参加を得た。カテゴリーは小学生男女、中学生男女、少年（高校生）男女、成年男女と8カテゴリーを設定した。

当初人数の多さからリード競技を国体や北信越国体のように一発決勝という進め方も検討されたが、クライミング技術の差から生じる危険性を考慮し、リード競技は予選と決勝の2本で勝敗を争うこととした。したがって、リード競技2本とボルダリング競技の

3課題で争った。

リード競技

最初の競技はリード、8種別同時のオブザベーションの後、9時40分にリード競技が

小学生女子、中学生女子、中学生男子が同時スタートで開始された。参加人数が多く、時間短縮を図らないと選手の帰宅時間がかかり遅くなること

が予想されたための措置であった。進行担当のアナウンズや審判団、ビレイヤーにか

なりの負担を強いる形となつてしまったがなんとかスムーズに運営することができた。

リードの決勝は最大2ルートの同時進行であった。リードの決勝は同高度の選手がいた場合、カウントバック（予選の結果を参照）しそれでも勝負がつかない場合はその高度

までの所要時間で勝敗を決定した。

小学生は予選を男子6人、女子3人完登した。しかし決勝は男女とも下部で落ちる選手がほとんどの中、阿達のみが完登し、実力を見せつけた。

中学生男子は猪股、田中が予選を完登、決勝もほぼ拮抗した力を示した。今後のジュニア世代を牽引してくれることを予感させる選手たちである。

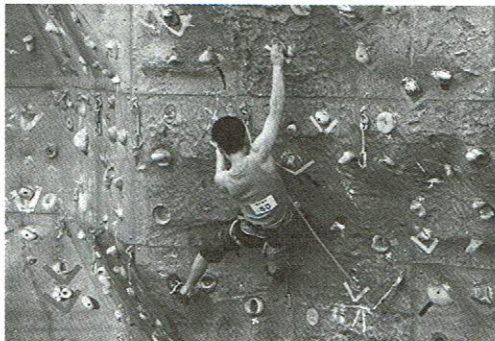
高校生男子は予選を完登した3人が決勝も完登するというセッターの予想を超えた実力を発揮した。とりあ

えず完登時間で勝敗を決したが、今回のルートでは本当の力の差がはかれなかったと言える。

高校生女子は予選を3名が完登したが、決勝では大月、渡辺の2名の完登であった。この2名はこれまで新潟県代表選手として国体出場を果たしてきた選手であり、面目躍如といったところだろうか。

成年男子は予選を4名が完登したが、決勝では山田のみが完登した。これまで力を持っているにも関わらず、大会出場を辞退し、スタッフとして協力してきた山田選手だが、満を持しての出場でその力をみせてくれた。

成年女子は決勝で完登者こそ出なかったものの、片桐、



成年男子のリード競技



成年女子のリード競技

瀧澤が群を抜いて圧勝。昨年まで連続で北信越国体を突破し、本国体への出場権を勝ち取って来た力を見せたことになる。

ボルダリング競技

リード競技終了後、ほとんど休むことなくボルダリング競技を実施した。ボルダリングは3課題、1課題あたりの持ち時間は3分間であった。3課題のうち何課題を完登できるかで勝負を競う。そのカテゴリー毎に課題は異なるがオプザベーションは全種別同時に行い、各種別の競技間に時間をはさまなくても良いようにした。混乱を避けるため

登る課題をあらかじめ説明し、選手が課題を把握した上でオプザベーションのタイムをスタートした。本国体と同様「とこてん方式」(第1課題3分間の競技↓3分間の休憩↓2課題3分間の競技↓休憩・・・という方式)での実施であったが、競技時間に関しては、本国体が2人で2課題を6分(成年男子予選は5分)ということもあり、妥当であると考えられる。

小学生は何人も完登者がでるとい結果になった。小学生はグレードの申告がなかったり、身長差が大きすぎたりと、本当にセッター泣かせで、セッターも苦労していた。今大会は前日にセッティングしたが、集まったセッターで「楽しんで登ってくれば今後もやる気になってくれるだろう。」と相談し、あえてレベルの高い選手にあわせなかつたため、予想された結果とも言える。

一方中学生は課題設定が難

しく完登者が少ない結果となった。少年男子は2課題目を完登した猪股が、女子は1課題目と2課題目を完登した頭師がそれぞれ1位となった。高校生男子は2課題を完登したのは南雲と京屋(長野県)の2名だった。同じ完登数の場合、完登するのに要したアテンプト数(少ない方が上位)で勝敗が決するが、南雲が3、京屋が2で、京屋が1位となった。女子はただ一人1課題を完登した大月が1位となった。

成年種別は男子が唯一3課題を完登した大久保が1位となった。女子は3名が1課題を完登、完登までのアテンプト数で片桐と瀧澤に絞られ、ボーナスポイント獲得までのアテンプト数で片桐が1位となった。

総合結果は次の通りとなっている。なお今回の総合成績は、リードの順位とボルダリングの順位の結果を総合成績として出している。

中・高生男子

氏名	所属	学年	総合順位	順位合計	L	B
					順位	順位
南雲 純太	柏崎工業	3	1	3	1	2
京屋 仁	大町高校	3	2	4	3	1
柿村 知寛	柏崎常盤高校	3	3	5	2	3
猪股義太郎	下山中	3	1	2	1	1
三宅 誠梧	柿崎中	2	2	5	3	2
田中 修太	直江津中等	1	3	7	2	5
高橋 帝雅	本成寺中	2	3	7	4	3

中・高生女子

氏名	所属	学年	総合順位	順位合計	L	B
					順位	順位
大月英理香	柏崎高校	3	1	2	1	1
渡辺優梨菜	新潟中央高校	2	2	4	3	1
田中 千華	直江津中等	4	3	5	2	3
頭師 彩乃	城北中学校	3	1	2	1	1
五十嵐 藍	関屋中	2	2	4	2	2

成年男子

氏名	所属	学年	総合順位	順位合計	L	B
					順位	順位
大久保貴史	新潟市		1	5	4	1
田中 聡	新潟市		1	5	3	2
山田 真史	糸魚川市		1	5	1	4

成年女子

氏名	所属	学年	総合順位	順位合計	L	B
					順位	順位
片桐麻由子	福井市		1	2	1	1
瀧澤 愉未	東京		2	4	2	2
坪井 浩美	国際自然環境アウトドア	2	3	8	3	5
砂山 智絵	長岡市		3	8	4	4
五十嵐 藍	関屋中	2	2	4	2	2

平成25年度評議員会議事概要

日時..平成25年4月13日(土) 13時~14時40分

場所..上越市 ホテルハイマート

参加..24団体

1. 開会

遠藤理事長(議長選出まで司会)

月26日開催の第2回理事事会において七澤恭四郎氏を後任の監事とすることの承認を得て、24年度決算書の監査を実施していただきます。しかし、監事の選任については、評議員会にて選出することとなっておりますので、ここに七澤恭四郎氏の監事就任について承認を求める。」と説明がなされた。議長が同意を求め承認された。

2. 会長挨拶

阿部信一会長による挨拶

会の事業報告、決算報告及び当協会の平成24年度収支決算書に基づき井村事務局長より説明がなされた。

3. 議長選出

亀田山岳会の佐藤博氏

「執行部・各役員の努力により、実質約400千円程度の黒字決算となったことは今後の会の活動にとって良かったと思う」との付言あり。

4. 議案審議

第1号議案 監事の追認について

「平成25年度評議員会議案書」の各委員

第2号議案 平成24年度事業報告及び会計報告について

遠藤理事長から、「去る1月7日に監事の外山禎一氏が逝去された。24年度の監査を控え、欠員を補充すべく平成25年1

配付の「平成25年度評議員会議案書」の各委員

を補充すべく平成25年1

評議員会にて選出することとなっておりますので、ここに七澤恭四郎氏の監事就任について承認を求める。」と説明がなされた。議長が同意を求め承認された。

「平成25年度事業計画及び収支予算について」

「平成25年度事業計画及び収支予算について」



新潟総合警備保障(株)

〒950-8633 新潟市東区小金町1-17-20
TEL 025-274-1965 FAX 025-271-3445



魚沼の里

www.uonuma-no-sato.co.jp



www.hakkaisan.co.jp

・日山協から当協会に対し助成金は支給されているか、収支決算書等を日山協に報告しているのか（日本山岳会越後支部）の質問。助成金は支給されてはいない。収支決算書等は日山協へ報告義務がある。当協会は日山協の支部組織ではない。日山協の1加盟団体である。

（遠藤理事長）

その後、拍手を持って承認された。

第4号議案 役員改選について

議長から「協会規約の規定により、まず理事、監事、名誉会長、参与の選出を行うとし、立候補者を求めた。しかし立候補者がおらず、前執行部の提案を求めた。」

前執行部から、案が示され、名誉会長は室賀輝男氏、参与は土田幸雄氏、平田大六氏、井出秀雄氏、山田智子氏、北村猛氏、高橋正英氏、渡邊

正之氏、片桐一夫氏、本間一人氏、楡井利幸氏、理事は浅野亘寛氏、阿部信一氏、井春文氏、五十嵐和則氏、井口礼子氏、伊藤直氏、伊藤明德氏、稲田春男氏、猪又定次氏、今井浩二氏、永田栄一氏、遠藤俊一氏、大野新一郎氏、桐生浩二氏、小林勇氏、小林重一氏、

坂野雅之氏、佐久間雅義氏、嶋原哲也氏、遠山實氏、成海修氏、笛木勉氏、松尾弘氏、宮崎幸司氏、森庄一氏、監事は七澤恭四郎氏、諏訪恵一氏が選任された。

会長、副会長、理事長、常務理事、顧問の選任は規約により、理事会で行うこととなっているので、理事会を開催するため評議員会は一時中断。新理事による理事会終了により評議員会を再開。顧問は室賀輝男氏、馬場潤一郎氏、藤井信氏、内藤修氏、橋本正巳

氏、遠藤家之進正和氏、会長は阿部信一氏、副会長は森庄一氏（総務、自然保護、会報編集）稲田春男氏（競技、ジュニア委員長）笛木勉氏（高体連）、小林重一氏（指導技術、遭難対策、海外登山委員長）、理事長は遠藤俊一氏、常務理事は宮崎幸司氏（総務委員長）、嶋原哲也氏（指導技術委員長）、井春文氏（遭難対策委員長）、伊藤直氏（自然保護委員長）、今井浩二氏（競技委員長）、浅野亘寛氏（会報編集委員長）が理事会で決定した旨報告された。

また、加盟申請のあった新潟雷鳥倶楽部の加入が認められたことも報告された。

平成25～26年度各専門委員会委員について議案書資料により報告された。

5. 議事終了により議長解任

6. 報告事項

(1) 第34回北信越国民体育大会について 遠藤理事長説明

第34回北信越国民体育大会山岳競技が平成25年7月27～28日に妙高市の国際環境アウトドア専門学校で開催される。この運営にあたり各加盟団体から種々ご協力を賜りたい。

運営費用について県から助成があるが一部不足する見込みである。25年度予算には計上してないが、不足分の支出が生じた場合は、補正予算を組む必要であるので了解を願いたい。（承認）

(2) 平成24年度の退会団体について 井村事務局長報告

三条山岳会、山友会、99、高体連シニア山の会、三条駒草山の会の4団体が退会、60団体となる。

る。（本日、新潟雷鳥倶楽部加盟で61団体。）

(3) 一昨日、県立アリーナ建設促進協議会の会合があり、今年度は本格的な活動を行うため、会費を値上げする。当協会は7,500円となる。予算案には計上してないが了解を願いたい。（承認）

7. その他

(1) 新山協ニュースがメール配信されるようになったが、今後紙ベースの新山協ニュースはどうなるのかとの質問。（高田ハイクングクラブ）日山協の登山月報の送付もあり、当分の間は、紙ペーパーの送付も継続する旨の回答。

(2) 当協会にホームページの改良、更新の予定どうかとの質問。（下越山岳会）

25～26年度の体制が本日決定したので、新体制



の中で前向きに検討取り
組みたいと回答。
(3) 高田ハイキングクラブ
から今年度創立50周年を
迎えるので、記念行事を
予定している。
(4) 柿崎山岳会は、米山を
大事にしようと云うこと
で、避難小屋の修復、案
内板の設置等種々の活動
をしている。

閉会 遠藤理事長

文責…遠藤俊一 以上

賛助会員入会 ご入金のお礼

次の皆様から、ご入会、ご入金を頂きましたので、ご報告させていただきます。

* 4月13日～4月30日現在のご入会、ご入金状況です。

森 庄一 (長岡ハイキングクラブ) 七澤恭一郎 (高田ハイキングクラブ)
 遠藤俊一 (一峰会) 丸山祐一郎 (峡彩山岳会) 橋本正巳 (高田ハイキングクラブ)
 小林由夫 (JAC越後支部) 藤巻道夫 (糸魚川山岳会) 佐久間雅義 (下越山岳会)
 中村光信 (いりやま岳友会) 土田幸雄 (長岡ハイキングクラブ)

(敬称略、順不同)

新潟県山岳協会

会 長・阿部 信一

理事長・遠藤 俊一

総務委員長・宮崎 幸司

登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス

 **ICI 石井スポーツ**
新潟店

新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL.(025)241-5134 特
 営業時間/平日10:30am~8:00pm 休日10:30am~7:00pm

登山・ハイキング・クライミング
 テレマーク&山スキー



パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
 TEL.0258(37)1200-FAX.0258(33)1164
 ●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>

新潟県山岳協会加盟山岳団体・賛助会員 各位

新潟県山岳協会 会長 阿部 信一・理事長 遠藤 俊一・総務委員長 宮崎 幸司

賛助会員継続および募集のお願い

謹啓、春暖の候皆さまにおかれては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素から本会の事業運営に格別なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて本会におきましては、加盟団体からの分担金で、下記の各種事業を実施しております。しかしながら、その実施にあたっては、十分な財源が確保されている状況ではございません。そのため場合によっては、担当各位のボランティアに依存しているのが実情です。つきましては、今年度も本会の目的や事業に賛同いただける方々を、個人・団体を問わず、賛助会員として募集いたします。何卒この趣旨にご賛同の上、「ご継続」及び「ご入会」いただきたくお願い申し上げます。例年多くの個人の方々から、ご賛同いただいておりますが、加盟山岳団体様からのご賛同についても、ご高配のほどお願い申し上げます。なお、ご賛同、ご入会いただける場合は、加盟団体、賛助会員へ送付済の「払込取扱票」にて下記の賛助会費をご納入いただきますようお願い申し上げます。

1 新潟県山岳協会事業

- (1) 国民体育大会山岳部門に関する事項。
- (2) 新潟県体育協会登山部門に関する事項。
- (3) 日本山岳協会に関する事項。
- (4) 登山施設の改善促進及び技術指導に関する事項。
- (5) 遭難対策に関する事項。
- (6) 自然保護活動に関する事項。
- (7) 加盟団体が主管する事業に対する相互協力に関する事項。
- (8) その他本会の目的達成に必要な事項。

2 賛助会費 年額 10,000円

協会加盟団体・役員へのメール配信一覧 3/31～4/23

配信日	内 容	送 信 元	取扱い・委員会
3/31	新潟雷鳥倶楽部加盟資料	新潟雷鳥倶楽部	県山協事務局
3/31	山友会 '99 退会届	山友会 '99	県山協事務局
4/1	公益社団法人への名称変更	日本山岳協会	県山協事務局
4/16	25年度国立登山研修所事業計画	日本山岳協会	県山協事務局
4/18	25年度中高年安全登山指導者講習会	日本山岳協会	県指導技術委員会
4/19	海外登山のパンフレットについて	日本山岳協会	県海外登山委員会
4/19	山岳レスキュー南魚沼	日本山岳協会	県遭難対策委員会
4/23	25年度国際委員会研究会	日本山岳協会	県海外登山委員会
4/23	25年度委員会名簿	県山岳協会	県山協事務局
4/23	山岳保険の拡大について	日本山岳協会	県山協事務局

事務局長・井村健一 (025-259-7152) 競技委員会委員長・今井浩二 (0257-23-0961)

理事長・遠藤俊一 (025-265-4181) 副会長・森 庄一 (0258-72-2710)

海外登山委員長・小林重一 (025-260-1843) ジュニア委員長・稲田春男 (0255-36-3958)

指導技術委員長・嶋原哲也 (025-385-3678) 総務委員長・宮崎幸司 (0256-33-9441)

自然保護委員長・本間一人 (025-385-2225) 遭難対策委員長・井 春分 (0257-52-2437)

順不同

※メール内容の問い合わせは取扱い・委員会、事務局でご確認下さい。